

児童朝会 講話 ■令和4年11月28日

No.21 「クリスマス」

校長先生の言葉は皆さんの心に届いていますか？

さて、先週のお題もだいぶ難しかったようですが、みなさんも慣れてきたのか、たくさんの答えを書いてくれました。ありがとうございます。

空気に重さは、あるのかないのか。昔のギリシャでもこの問題でもめて、大喧嘩に発展したというぐらい、昔から人類を悩ませてきた問題なのです。ちなみに、大隅西では、シールの張り具合からみますと、空気に重さはないという意見の方が少し多いようですね。

意見としては、どちらもしっかり考えて書いてあり、校長先生は本当に驚いています。それでは、答えを…の前に、今日もヒントにいきます。事実、目の前の現象をしっかりみることと、もし重さがあるのなら、なぜボールの実験ではつりあったのかということを説明することで正解が見つかります。軽い空気だったからつりあったという意見がありました。校長先生は、いつもの空気入れで風船に空気を入れましたので、みなさんの周りがある空気を入れただけです。

今日はもう1つヒントの実験をしようと思っておりましたが、少し時間がかかるので、また今度したいと思います。

さて、最近夕方の日暮れが早いですね。5時と言えばもう真っ暗です。みなさん、そんなときに外で遊んでいないですよ。冬になると、どんどん日が短くなっていきます。このままいきますと、今年は12月22日が一番昼間の短い日です。この日のことを何というか知っていますか？

そう、冬至と言います。

そして12月23日からまた日が長くなり、来年の6月21日までどんどん日が長くなります。そう、この冬至の日はまるで太陽が復活してくるような日なので、昔からお祝いの日として、お祭

りなどをしていました。日本では、ある食べ物を食べると縁起がいいとされてきました。どんな食べ物でしょうか。

れんこん、こんにゃく、にんじん、うどん、かぼちゃなどです。ほかにどんなものがありますか？わかった人はまた校長室前のボードに書きにきてください。

さて、外国ではこの冬至の日をどんな風にお祝いするのでしょうか？実は皆さんもよく知っているあれですよ！

そう、クリスマスです。むかし、ヨーロッパでは冬至の日を祝うのに、かしの木などに飾り付けをしていたそうです。これが、クリスマスツリーの始まりです。

クリスマスは、キリスト教をはじめたイエスキリストの誕生日とよく言われていますが、実はこの誕生日はいつなのかははっきりわかりません。

だいたい、12月の終わりごろじゃないかということで、ローマ帝国などでも、太陽が復活する冬至の日にイエスの誕生のお祝いをしていたそうです。

また、セントニコラスさんが煙突からお金をなげいれ、暖炉で濡れた靴下をほして、そこにお金偶然入ったそうです。これが、クリスマスに靴下をかざる謂れです。またこのセントニコラスさんが、今のサンタクロースの起源と言われています。

これらのいくつかのお祭りが集まって、今のクリスマスになったのではと考えられています。

さて、クリスマスといえば、プレゼントですね。サンタさんにお手紙などを書いて、プレゼントをお願いする人もいるかと思いますが、そこで今日のお題は、もしみなさんがサンタさんだったら、誰にどんなプレゼントをしたいですか。少し周りの人と聞き合ってみてください。

おうちの人に…、お友達に…、いろいろあるかと思いますが。これを校長室で書いてクリスマスカ

ードにしようと思います。必要なものは校長室で準備しますので、またよかったら書きにきてください。

そして、クリスマスの日までのアドベントカレンダーも貼っておきますので、みなさんでこの窓をあけてください。ただし、一人1回だけです。みなさん、なかよく開けてくださいね。なお1、2年生は教室のアドベントカレンダーを開けるようにしてください。

今日も最後まで聞いていただきありがとうございます。ありがとうございました。